

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 舞鶴市

プロジェクト名	[地域産業の復旧・都市基盤強化による人口流出防止]プロジェクト		実施期間	平成30年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	新規
地域における現状、課題及び住民ニーズ	本市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、定住人口の減少抑制と交流人口の拡大に取り組んでいる。そのような中、平成25年の台風18号、平成29年の台風21号、そして今年の平成30年7月豪雨と過去5年間で度重なる大災害に見舞われている。災害の度に繰り返されるビニールハウスの倒壊や農地・住家・商店等への被害は、事業者の営農・営業意欲を低下させ、安全な生活を脅かされた住民の定住意欲にまで影響を与え、安心して住み続けるための支援が求められている。							
プロジェクトの目的及び概要	災害からの復旧と浸水対策等の都市基盤の強化、さらに特に過去の災害で被害の大きい加佐地域の農業振興をはじめとする地域産業の強化を一体的に進め、地域経済を一層強化することで、住民が安全に安心して住み続けられる地域づくりを推進する。							
	総事業費（千円）	95,752	本年度事業費（千円）	95,752	交付金額（千円）	34,079		
プロジェクトを構成する事業の平成30年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要			主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	離農防止・産地力維持事業	交付対象事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災担い手農家等経営再建支援</li> <li>万願寺甘とう振興</li> <li>舞鶴産のお茶振興</li> <li>農業雇用継続支援</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>被災担い手農家等の経営の継続・再建を支援（10経営体）</li> <li>万願寺甘とうパイプハウス設置補助（8棟14.3a）、露地資材の補助（11a）</li> <li>茶業振興対策事業費補助金（1団体）、</li> </ul>		
	災害に強い農林業基盤強化事業	交付対象事業	災害に強い農場づくり支援 有害鳥獣防止柵復旧支援 地域活動支援（農地、治山、林道の復旧に必要な資材等の支給） 土地改良事業費補助 治山事業費補助 林道改良事業費補助			<ul style="list-style-type: none"> <li>農地の嵩上げや改良済み農地へのハウス移転等に係る経費（164㎡）</li> <li>有害鳥獣侵入防止柵復旧支援事業費補助金（6,982㎡）</li> <li>農地等の復旧に必要な砕石等の支給</li> <li>土地改良事業費補助金（42地区）</li> <li>治山事業費補助金（23地区）</li> <li>林道改良事業費補助金（5地区）</li> </ul>		
	災害に強い都市基盤強化事業	交付対象事業	地域防災計画の見直し 西地区浸水対策事業 東地区排水対策事業			<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年3月19日に舞鶴市防災会議を実施し、舞鶴市地域防災計画一般編（一般災害対策編、原子力災害対策編）の一部改正を実施</li> <li>宅地かさ上げ助成 3件</li> <li>東地区浸水調査業務委託</li> </ul>		
	農業災害ボランティア派遣事業	交付対象事業	農地の堆積ごみ撤去等を手伝うボランティアの募集・派遣			農業災害ボランティアの派遣（実施日数：4日、作業箇所数：8箇所、参加人数：延べ49人）		
	民間建築物耐震改修等推進事業	関連事業	市内にある民間建築物の耐震化を促進し、災害に強いまちづくりを推進する			H29 耐震診断士派遣 5件 耐震改修 7件 H30 耐震診断士派遣 1件 耐震改修 5件 R1 耐震診断士派遣 3件 耐震改修 3件		
住民協働事業								
住民が取り組む事業								
成果指標①	成果指標の目標数値	万願寺甘とうの出荷量（250トン）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	174トン			
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	GI登録商品の強みを活かし、園芸施設栽培や新規就農者の栽培面積拡大を支援する。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標②	成果指標の目標数値	お茶の栽培面積（生産維持）（11.8ha）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	11.0ha			
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	生産設備の近代化、栽培技術の統一化、JA生産部会の活動等を支援する。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標③	成果指標の目標数値	加佐地域への移住世帯数（H27～H30 累計14世帯）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	H27～H30 累計19世帯			
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	空き家所有者への積極的な働きかけや移住相談者へのきめ細かな対応に努める。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標④	成果指標の目標数値	高潮対策実施延長（13.5km）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	11.9km			
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	地域住民との協議等が難航し、計画的な実施に至らなかった。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
成果指標⑤	成果指標の目標数値	由良川水防災対策完成集落（18集落）		成果指標の実績値 (31年3月31日時点)	12集落			
	成果指標の達成状況	△	(左の理由)	令和元年度の対策完了に向け、取り組んでいる。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)			
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	災害により万願寺甘とうの出荷量は減となったが、お茶の栽培面積については維持することができ、被災担い手農家等経営再建支援等による離農防止・産地力維持事業の取り組みによる効果があった。災害に強い都市基盤強化事業では引き続き取り組みを継続するとともに、国・京都府とも連携することで着実に浸水対策等の都市基盤の強化に取り組み、住民が安全に安心して住み続けられる地域づくりを推進する。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。							
関連事業との連携効果	市内にある民間建築物の耐震化を促進し、災害に強いまちづくりを推進することで定住人口の減少抑制に寄与した。							

# みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成30年度分）

団体名： 舞鶴市

本プロジェクトに対する自己評価	府と市町村等との連携に資する成果	京都府移住ポータルサイトや京都移住コンシェルジュとの連携により、移住希望者とのマッチングをより効果的に実施することができた。
	住民の自治意識を高める成果	住民や地域が主体となって身近な農地、林道等の被災箇所への復旧等に取り組むことで、住民の自治意識を高めることができた。
	リーディング・モデル成果	
	広域的波及成果	
	行財政改革に資する成果	
	その他の成果	

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。